

会社名 EIZO株式会社  
代表者名 代表取締役社長 COO 恵比寿 正樹  
(コード番号 6737 東証プライム)  
問い合わせ先 執行役員 総務部長 比良 浄敬  
電話番号 076(275)4121

## TNFD開示提言に賛同し、「TNFD Adopter」に登録

### - 生物多様性の保全に向けた取組みを推進 -

EIZO株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長 COO:恵比寿 正樹)は、自然関連財務情報開示タスクフォース(Taskforce on Nature-related Financial Disclosures: TNFD)<sup>※1</sup>が公表した情報開示提言に賛同し、「TNFD Adopter」<sup>※2</sup>へ登録しました。今後、TNFD提言に沿って自然資本への依存・影響・リスク・機会の特定を進め、2024年度中に情報を開示する予定です。なお、今月10月21日より、コロンビア・カリにて開催されている生物多様性条約第16回締約国会議(COP16)にて、当社はAdopter登録組織の一つとして公表されました。



当社は、「映像を通じて豊かな未来社会を実現する」という企業理念のもと、環境に配慮した製品づくりを原点として活動を続けております。環境に調和した企業活動は重要な経営課題の一つでもあり、ものづくりと事業活動の両面において常に環境への影響に配慮し、資源の有効利用、気候変動緩和への取組み、生物多様性及び生態系の保護を含む環境保全、汚染予防、環境リスクの低減に努めています。今後は公表された提言に基づき、LEAPアプローチ<sup>※3</sup>と呼ばれる手法に沿った分析を進め、結果を整理し情報の開示を進めるとともに、バリューチェーン全体における生物多様性の保全に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1: 自然関連財務情報開示タスクフォース(Taskforce on Nature-related Financial Disclosures: TNFD)

組織が自身の経済活動による自然資本および生物多様性への影響を評価し、情報開示する枠組みの構築を目指す国際イニシアチブ

URL: <https://tnfd.global/>

※2: TNFD Adopter

TNFDの提言に沿った情報開示をすることをTNFDのWebサイト上で宣言した組織

URL: <https://tnfd.global/engage/tnfd-adopters-list/>

※3: LEAPアプローチ

組織が自然との接点の発見(Locate)、依存関係と影響の診断(Evaluate)、リスクと機会の評価(Assess)、対応し報告するための準備(Prepare)を行うことを目的とした、TNFDが提唱した分析手法